

## カーメカニックチャレンジ2023 専業では道内初 金田自動車(江別市)に高校生



昨年オープンした札幌店

国土交通省が産学官と連携し、高校生等が整備工場での整備士の仕事を体験する『自動車整備業における仕事体験事業』の第2弾が先月14日からスタートした。

今回この取り組みに応募した金田グループ(金田和鐘代表)の金田自動車(金田一宏社長)旭川市)には、昨年オープンしたトラック整備工場札幌店(荒谷教世店長)江別市)角山426番地14)を指名した。富良野市の緑峰高校電気システム科で学ぶ加藤麻佑君1年生が参加。「学校では電気配線図

を書いたりしているが、トラックには沢山の電気が使用されているので構造に興味があった」と同社選択の動機を話した。

期間中は同社エンジニアの指導のもと、自動車の構造学習から、定期点検整備や車検整備について、作業手順や交換部品の良否、検査ラインのテストターの使用や保証証交付までの流れを学んだ。

加藤君は「車の修理工場という感じとは全く違った。工場は明るく、優しい人ばかり。作業も大型車なので力仕事ばかりかと思っただけ、電動工

具など機械化が進んでいてびっくりした。できれば就職した際に、工具の名前と使い方などが解る冊子みたいなものがあればと思った」と話し、「授業では解らない事が沢山あり、3日間があつたという間だった」と述べ、今後の進路に「整備士」も選択肢として入りたいと



大きな部品に驚きながら作業を楽しむ加藤君

答えてくれた。

荒谷店長は「わが社を選んでくれたことを嬉しく思う。モノづくりが好きという事で、整備の仕事にエントリーしてくれただけ、今の気持ちで卒業まで続くことを願う」と話していた。